



日見夢大橋

【スパイラルシースについて】

昭和27年我が国に初めてプレストレストコンクリート工法が採用されて以来、関係各方面の深い認識と理解により、各分野に進出し、その発展は目ざましいものがあります。それとともに、スパイラルシースも橋梁、建築、道路、航空機の滑走路、プール、タンク、その他PC構造物にPC鋼材のシース材として幅広く用いられ、今日、理想的な製品が大量に製造、使用されています。

スパイラルシースの特徴

このスパイラルシースは、独特の製法による重合螺旋捲管であります。製法は主として、径20~100mm、厚さ0.25~0.5mmの帯鋼を使用し、螺旋型に順次捲きながら、帯鋼の両端を重ね合せ保持固定していく方法です。特に強度を保つ役割を果たしている重ね部分は、4枚の帯鋼が重なりあい、その上にギザが付けてプレスしています。当社のスパイラルシースは、下記の利点を満たすため品質第一をモットーに、製造から荷造り、運搬まで、一貫した生産管理を行っております。



スパイラルシースの利点

● 肉厚が薄い

0.25~0.5mmと極めて薄い帯鋼を使用しているため、軽量であり、材料費、運搬費等の経費の節減となります。

● 強度が高い

帯鋼の厚さが極めて薄いにもかかわらず、管型を固定している螺旋型リブのため、バイブレーター等の外力に対して充分な強度をもっており、また管中心部方向への荷重に対しても高い抵抗力をもっています。

● ハゼ折部の完全性

ハゼ折部分は、プレスされると同時に、条溝ギザが形付けられるため、ハゼ折部分のはずれや緩んだりする心配がありません。また引っ張りやネジレに対しても高い抵抗力をもっています。

● コンクリートの付着性が大きい

ハゼ折部分にはギザをついているため、コンクリートとのなじみが良く、付着性が大きくなり、また防水性はセメントペースト等の漏れに対しても完全です。

● 自由に管の長さ、口径が製作できる

製作装置には長さに対する制限がなく、また口径も多くの種類を製作することができます。

● 管の曲げ上げ角度が容易である

管にはリブがついているので、自由にわん曲ができ、滑らかなカーブとなります。また角度による損傷もなく、施工性にすぐれています。

● 接続が容易である

管の接続や切断は容易であり、継ぎ目による障害もなく精密です。

● 均一性、精度

スパイラルシースは、冷延帯鋼を材料に自動製管機で製造するため、均一性及び精度にすぐれ、大量生産が可能であり、常時即納体制にあります。



スパイラルシースの品質試験および検査

(1) 品質試験

スパイラルシースの品質試験は、以下の3つの項目について、土木学会コンクリート標準示方書に規定された方法で行われます。

- 局部的な外力に対する抵抗力試験
- 等圧外力に対する抵抗力試験
- 曲げに対する抵抗力試験

規定の方法で作成されたシース供試体に水セメント比50%のセメントペーストを封入し、セメントペーストの漏れのないことを確認します。

(2) 検査

- 外観検査

すべての製品について外観を調べ、キズ、サビ、付着物その他の有害な欠点がないことを確認します。

- 寸法検査

製造ロットごとに寸法検査を行い、内径および長さが規定寸法許容差内であることを確認します。

MSセンサー付ジョイントシース



確認の難しい作業を簡単、確実にする

スパイラルシース同士の接合に使用するジョイントシースにセンサーを取り付けた製品です。

スパイラルシース内部の充填施工においてセンサーに触れた充填物を直接検知することにより、充填不良を防ぐ事が可能となります。

■本製品をご使用になる場合は、測定器が必要になります。

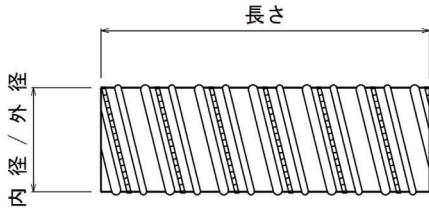
- センサーの検査

すべての製品についてセンサー抵抗値が規定値内である事を検査しています。

使用例



スパイラルシース・ジョイントシース 規格寸法表

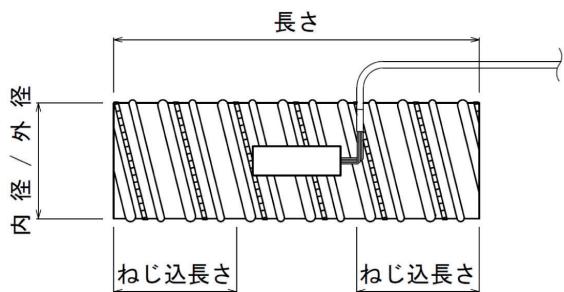


品番	スパイラルシース				ジョイントシース			
	内径Φ [mm]	外径 D [mm]	鋼板厚 [mm]	概算重量 [kg/m]	内径Φ [mm]	外径 D [mm]	鋼板厚 [mm]	長さ [mm]
1020	20	22.5	0.25	0.17	22	24.5	0.25	200
1023	23	25.5	0.25	0.19	25	27.5	0.25	200
1026	26	28.5	0.25	0.23	28	30.5	0.25	200
1028	28	30.5	0.25	0.24	30	33	0.25	200
1030	30	33	0.25	0.25	32	35	0.25	200
1032	32	35	0.25	0.27	34	37	0.25	200
1035	35	38	0.25	0.29	37	40	0.25	200
1038	38	41	0.25	0.31	40	43	0.25	200
1040	40	43	0.27	0.34	42	45	0.25	200
1042	42	45	0.27	0.36	44	47	0.25	200
1045	45	48	0.27	0.37	47	50	0.25	200
1050	50	53	0.32	0.46	52	55	0.32	200
1055	55	58	0.32	0.52	57	60	0.32	200
1060	60	63	0.32	0.61	62	65	0.32	200
1065	65	68	0.32	0.65	67	70	0.32	250
1070	70	73	0.32	0.69	72	75	0.32	250
1072	72	75	0.32	0.72	74	77	0.32	250
1075	75	78	0.32	0.77	77	80	0.32	250
1080	80	83	0.32	0.83	82	85	0.32	250
1085	85	88	0.32	0.90	87	90	0.32	300
1090	90	93	0.32	0.97	92	95	0.32	300
2065	65	69	0.4	0.82	70	73	0.32	300
2070	70	74	0.4	0.90	75	78	0.32	300
2075	75	79	0.4	0.96	80	83	0.32	300
2080	80	84	0.4	1.04	85	88	0.32	300

※外径寸法は製品リブ凸部を含みません。

- ・スパイラルシースに使用する鋼板は、JIS-G-3141 または JIS-G-3302 を用います。
- ・標準定尺長さは 4m です。 定尺長さ以外の製作も対応可能ですので、ご相談ください。

MSセンサー付ジョイントシース 規格寸法表



MSセンサー付ジョイントシース					適合シース	
内径Φ [mm]	外径 D [mm]	鋼板厚 [mm]	長さ [mm]	ねじ込み長さ [mm]	品番	内径Φ [mm]
42	45	0.25	200	58	1040	40
44	47	0.25	200	58	1042	42
47	50	0.25	200	58	1045	45
52	55	0.32	200	58	1050	50
57	60	0.32	200	58	1055	55
62	65	0.32	200	58	1060	60
67	70	0.32	250	83	1065	65
72	75	0.32	250	83	1070	70
74	77	0.32	250	83	1072	72
77	80	0.32	250	83	1075	75
82	85	0.32	250	83	1080	80
87	90	0.32	300	83	1085	85
92	95	0.32	300	108	1090	90
70	73	0.32	300	108	2065	65
75	78	0.32	300	108	2070	70
80	83	0.32	300	108	2075	75
85	88	0.32	300	108	2080	80

※外径寸法は製品リブ凸部、センサーを含みません。

- 接続するスパイラルシースはジョイントシース内部にあるストッパーにより、ねじ込み長さ以上には、ねじ込めなくなっています。
- センサーケーブルの標準長さは5mとなっています。ケーブル長さの延長が必要な場合は、5m単位にての対応になります。
- 製品の詳細につきましては、お問い合わせください。

● カップラーシース



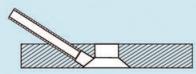
窓付カップラーシース 意匠権登録 第825006号



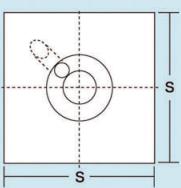
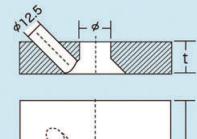
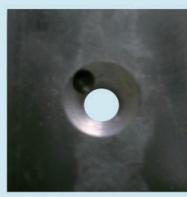
透明カップラーシース



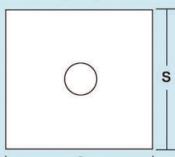
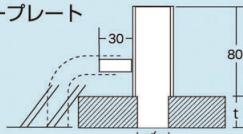
テープー管付アンカーブレート
意匠権登録 第1013622号



アンカーブレート



排気付
アンカーブレート



● 各種付属品

グラウト排出孔付
カップラーシース



カップラーシース継手



底付カップラーシース
(引張部よりPC鋼棒がさらに
伸ばされるとき使用)



排出孔付
ジョイント

コーンスリーブ
(Φmm用)



特殊型カップラーシース



● アンカーブレート寸法 (参考)

鋼板厚 d(mm)	対変距離 S(mm)	厚さ t(mm)	孔径 Φ(mm)	重量 w(g)
17	90	19	20.0	1,210
23	120	25	27.0	2,830
26	135	28	30.0	4,010
32	165	32	36.0	6,840



株式酒井工業所

〒841-0202 佐賀県三養基郡基山町大字長野 967
TEL 0942-92-2753 / FAX 0942-92-3350